⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

# ⑩公開特許公報(A)

昭63-275356

(a) Int.Cl. 4 A 63 B 37/00 識別記号

庁内整理番号 L-2107-2C 母公開 昭和63年(1988)11月14日

37/06 C 08 L 9/00

LAY

6770-4】 審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

❷発明の名称 ソリッドゴルフボール

②特 顋 昭62-109147

❷出 類 昭62(1987)5月2日

母 発明者 浜田 母 野 者 平 岡

明 彦 規

宏

兵庫県加古川市平岡町山ノ上684-33 城の宮17A 402

 兵庫県神戸市東灘区本山北町1丁目9-12

・ 兵庫県西宮市樋の口町1-1-23 住友ゴム工業株式会社

**@**発明者 大質

兵庫県明石市魚住町西岡501-23

⑪出 頤 人 住友ゴム工業株式会社

兵庫県神戸市中央区筒井町1丁目1番1号

邳代 理 人 弁理士 育 山 葆 外2名

明 細 會

1. 発明の名称

ソリッドゴルフポール

- 2.特許請求の範囲
- 1. 甚材ゴム、共架機削および過酸化物を含有するゴム組成物から形成された弾性部分を少なくとも一部に有するソリッドゴルフボールにおいて、設益材ゴムがムーニー粘度[Mし1・・(100℃)]45以上、90以下であって、シスー1.4結合を少なくとも80%以上有するポリプタジエンゴムを少なくとも40質量%以上含有することを特徴とするソリッドゴルフボール。
- 2. ポリプタジエンゴムが数平均分子費 $(\overline{M}n)$ と重量平均分子量 $(\overline{M}v)$ との比 $(\overline{M}v/\overline{M}n)$ 4.0  $\sim$ 8.0 を有する第1項記載のソリッドゴルフポール。
- 3. ポリブタジエンゴムのムーニー粘度が50~70である第1項記載のソリッドゴルフポール。
- 4. 基材ゴムがポリブタジエンゴムとその他の ジエン系ゴムの混合物である第1項記載のソリッ

ドゴルフポール。

3.発明の詳細な説明

(商業上の利用分野)

本発明は新娘なソリッドゴルフポールに関する。 (従来の技術およびその問題点)

ソリッドゴルフボールとは、糸ゴム弾性体を中心に巻きつけた、いわゆる、糸巻きボールでないものを観弥し、完全一体成形のワンピースゴルフボールとソリッドコアーとカバーから成るソリッドゴルフボール(ソリッドコアーが一体成形の場合は、ツーピースゴルフボール、ソリッドコアーとからは、ファーとからなるマルチピースソリッドゴルフボールは、ゴム組成物を加強で表で、アーンは全部(ワンピースゴルカール)に有している。弾性部分を形成するためのゴム組成物中には、ポリブタシエンゴムなどの話げゴムに不飽和カルボン酸の金属塩等の不飽和結合を有するモノマーが共興機刻とし

### (問題点を解決するための手数)

本発明者は、ソリッドゴルフボールの反根、耐 久性の改良を同時に適成すべく、材料面からの検 対を行った。特に、基材ゴルフボールとして使用 されるポリプタジエンゴムに若目し、程々のポリ プタジエンゴムでソリッドゴルフボールを試作し、 反撥係数と繰り返し打撃による耐久性との測定を 実施し、鋭寒検討を置ねた結果、現在、一般的に

本発明におけるソリッドゴルフポールは、甚材 ゴムにシスー1.4結合を少なくとも80%以上、 好ましくは95%以上含有し、そのムーニー粘度 [ML:+(100℃)]が45以上、90以下好ま しくは50~70の範囲にあるポリプタジエンゴ ムを主成分として用いることが必要である。ポリ ブタジエンゴムのムーニー粘皮は45以上でポリ ブタジエンゴムの性能が最も効果的に発揮され、 4.5未満では効果が弱く、9.0を越えると配合剤 等の提輔分散性が悪くなり充分な改良効果が得ら れない場合がある。ポリプタジエンゴムは加工性 の点から分子量分布がある程度広く、数平均分子 風(Ma)と重量平均分子皿(Me)の比で扱わされる 分子最分布の指数Me/Maが4.0~8.0の範囲 であることが好ましい。4.0より小さいと加工 性が悪く、8.0より大きいと加工性はよいが性 能面で劣る。基材ゴムには上紀特定のポリプタジ エンゴム以外に通常のポリプタジエンゴム、他の ジエン系ゴルフポール、例えばスチレンプタジエ ンゴム、ポリイソプレンゴム、天然ゴム等を配合

従って、本発明者らは、上述した特性のポリプタジエンゴムをソリッドゴルフボールの番材ゴムとすることにより、反撥、耐久性に優れたゴルフボールを容易に製造しうることを知見し、本発明を完成するに到った。

することもできるが、これらの無は、甚材ゴム中 の60重量%以下であることが好ましい。

本発明において、共製機剤としては不飽和カルボン酸および/またはその会属塩が適常使用される。不飽和カルボン酸、その会属塩としては、アクリル酸、メタクリル酸、これらの2倍金属塩(例えば、亜鉛塩)等が挙げられ、これらの1種または2種以上が用いられる。共果製剤配合量は基材ゴルフボール100重量部に対して15~60重量部とすることが好ましい。

過酸化物としてはジクミルパーオキサイドや1 ープチルパーオキンペンプエート、ジーLープチルパーオキサイドのような育製過酸化物が例示されるが、特に好ましいものはジクミルパーオキサイドである。過酸化物の配合量は蒸材ゴム100 型量部に対して通常0.5~3.0重量部、好ましくは1.0~2.5 重量部である。

ブルフボールはJIS S-7005-1955の規格値、即ち、直径42.67 mm以上(ラージサイズ)、41.15 mm以上(スモールサイズ)で4

# 特別昭63-275356(3)

5.99以下が定められており、ポールの比重は必 然的に定められる。従って、これらの値を構足す るために、通常充填剤がゴム組成物中に添加され る。充填剤の例としては、乾酸パリウム、酸化亜 鉛、炭酸カルシウム、含水硅酸等が例示される。 また、必要に応じ老化防止削等の添加剤を添加し、 ゴルフボールの性能を改善してもよい。

本発明のゴム組成物は上紀成分をロールやニー ダーを用いて説師して得られる。混練の時間や温 度等は適常用いられている範囲で決定される。

ソリッドゴルフポールは上記ゴム組成物を所定 の型内で加強成形することにより得られたゴム質 部分をその一郎ないし全部とするものである。必 要により架偽されたゴム質部分に樹脂等のカバー を彼せてもよい。加錠は通常し40~170℃の 温度で20~40分行なわれる。

### (発明の効果)

本苑明で得られるソリッドゴルフポールは、基 材ゴムとして、道常のムーニー粘度のブタジエン ゴムを使用した場合に比べ、着しく優れた反換性 能および疲労耐久性を示す。また、ムーニー粘度 の上昇に伴う加工性の思さはポリブタジエンゴム の数平均分子型および重量平均分子量の比を調整 することにより、改善される。

#### (実施例)

本発明を実施例により更に詳細に説明する。但 し、本発明はこれら実施例には限定されない。

### 実施例1~4および比較例1~3

本実施例に用いたポリプタジエンゴムの商品名、 販売会社および特性を表ー」に示す。

ユンド トレップ マング 9.6×10\* 76×10\* تا بر ا برا 字馬剛隆 . 21 × 12 THF溶液4 2 BR-11 11×11 77 = [21] 型合力払はBR-IIと同じであるがより高鉛合成、 ソゴム \*8 各級 18×10\* 68.5×10\* 14 IN ۵ S 13×16\* 14 T. R K-1 23 ပြ 合成プム 15×10\* 8 2 \* \*8 12.5×10 75×10\* イデン120月 7 ا خ ح 53 521,4(%) 521,4(%) 7=2 (%) ムーニー特度 和...(199で) 17の保証 ・ルーメの草 1953 子.f. **8**0 25 £ ₩

表-1の各種ポリプタジエンゴム、アクリル散 更鉛、酸化亜鉛およびジクミルパーオキサイドか らなる組成物を表-2に示す処方によりロールを 用いて延続し、145℃で40分間加圧成形して 直径約38.588のソリッドコアーを得た。次に、 このソリッドコアーにアイオノマー組匠(ハイミ ラン1707)100重量郎および酸化チタン2 重量郎の組成のカバーを被覆してラージサイズゴ ルフボールを得た。これらのゴルフボールについ てコンプレッション、反根係数、疲労耐久性を測 定した。結果を表ー2に示す。

特開昭63-275356(4)

(1) 方広製菜製: ロシノックス425。

(2) ロール投線性: ロール発付状態、配合制 の分散性、シート生地の変面肌を総合 的に評価。

> 臭: 穏付き、分散、シート生地の肌が いずれも問題ない水準にある。

> 可: 色付きが悪く、シート生地肌もか なり荒れているが、分散は悶草の ない水単にある。

> 不良: ロール色付き、シート生地肌が 思く、配合剤の分散も悪い。

- (1) PGA: PGA表示によるコンプレッション。
- (4) 反投係数: ポールに198.4gの金属円筒 物を45 m/mの速度で衝突させたとき のポールの速度より算出(測定温度2 3℃)。
- (6) 耐久性指数: ボールを 4 5 m/sの速度で街 撃板に繰り返し衝突させ、ボールが破 壊するまでの衝突回数を、比較例!を ! 0 0 とした指数。

A 100		_	Г	Т	Т	T	Т	Т	<del>-</del>	Г	Т	Т		1 00			-	_
A 100 E 3 4 1 E 校 E E E E E E E E E E E E E E E E E			6			-				8	=	22		0.5	æ	=	6.780	:
A 100 3 3 4 1 1 2 2 3 4 1 1 2 2 3 4 1 1 1 2 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		×	1						8		=	22	2.0	9.8	æ	201	0.781	•
A 100 180 100 100 100 100 100 100 100 100			_					2			31	11	2.8	0.5	田	103	9.782	***
A 100 180 180 100 100 100 100 100 100 100			~				8				Ę	22	2.0	9.5	Ē	105	0.784	
A 100 180 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C			6			8					=	22	2.0	0.5	Ø	103	0.782	:
A U D D B B B B B B B B B B B B B B B B B		7	2		=						=	22	2.0	0.5	ध	104	9.795	:
A - 2 A A B B B C C C C C C C C C C C C C C C			1.	100							ä	22	2.0	0.5	既	103	0.191	:
アクリエンゴムア散ジパ 老 れ・コ 反の	2			<	Ð	ပ	Q	3	d	ŋ	アリル酸亜鉛	に恐怖	ノミルーオキサイド	比防止剂(1)	344件 (1)	17675.00	1000年	(c) # 2 # 2 1
	- 1			7	*	ಎ	н	7	ת	4	1	酸	2, 5	4	- A.M.	. 'n	区	21.5

## 実施例5~8および比較例4~6

表-3に示す処方により、組成物をニーダーおよびロールで混雑し、170で、25分間加圧成形し、一体成形のラージサイズゴルフボールを得た。これらのゴルフボールにつき、表-2のツービースソリッドゴルフボールの場合と同様の方法で、コンプレッション反投係数、疲労耐久性を測定した。結果を表-3に示す。

	没	5 6	100	001						25 25	25 25	1.0 1.0	<b>A</b> A	92 92	6.715 6.720	118 125
- 3			V /	B	ر د	D	3	<u>بر</u>	9	メラクリル機	散化菱粉	リクミルパーオキサイド	ロール記録性		反叛等数	耐久性(脂散)
#1			1	*	<u>"</u>	H	•	<u></u>	7	*	<b>3</b>		P	ポープ	#	

# 手統補正督

特许庁 長官 股

昭和 6 3 年 1月 2 5 日

1. 事件の表示

昭和 6 2 年特許願第 1 0 9 1 4 7 号

2 克明の名称



ソリッドゴルフポール

3. 精正をする名 事件との関係 特許出顧人



住所 兵即以孙卢市中央区的并引了了目1番1号

名称 住友ゴム工業株式会社

代表者 往 由

4. 代理人

住所 〒540 大阪府大阪市東区城見2丁目1番61号 フイン21 MI Dタワー内 電話(06) 949-1261

**兵名 弁理士(6214)青 山** 森(ほか



5. 補正命令の日付 自発

6、補正の対象 明細書の「発明の詳細な説明」の概

- 7. 諸正の内容
- (1) 明細音第8頁下から第3行、「製筋例1~1」 とあるを「実施例1~5」に訂正する。
- (2) 明和書第9頁の表-!を別紙[の通り訂正
- (3) 明細貨第11頁の表-2を別紙目の通り釘
- (4) 明細貴第13頁第1行、「実施例5~8」と あるを「実施例6~10」に打正する。
- (5) 明細書第14頁の表一3を別紙皿の誰り訂 正する。

以上

			,				,	
## ##	777188		7.†CB13	* 1 7'4CB23 7'4CB22 BR-11	เเ-ม	ウベボール ユーロ ブレン IIR-100 II-シス	コンドロング・マング・スク・スク・スク・スク・スク・スク・スク・スク・スク・スク・スク・スク・スク・	X 2 6
対応メーカー イチー	7 2 F 7 2 7 R	日本 奇威ゴム	ルエトン	ינלצא ינלצא	日本 合成ゴル	字節腕成		ž
4-5-150C)	\$\$	09	\$1	19	13	<b>1</b>	<b>2</b> +	~
こかの保証			1			!		
771.(%)	•	<b>z</b> ·	95.5	= -	× •	Z ·	<b>2</b> ·	ā `
17741.4(%) K= A (%)	2.3 7.5		1.5	1.5			· •	
A 图 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4								
ž	11.5×10	. 12 × 11.	13×10		9.8×10.	18×10 9.8×10 9.7×19	9.0×10* 21.0	Ξ.
ž	15×10*	13×16*	71×10	68.5×10	47×10		76×10	2. 2.
9 th Me/Me	1.1	5.0	5.7	3.8	1.8	4.5	8.5	-
# 以作品。		11-11 B T	日にである	最合力技はBR-11と同じであるがより高価合成、高ムーニー粘度の	1合匠、A.	ニールーない	ē	
12 単位大石	インファ 法は JIS E	6380 KR	*					
古 子次県	RXKOL	F. * 70	#F. 15.	<b>新丸製数メスクトが、ホフロ沿による。</b>				
	C. CYR.	シードャーン		(トグラム)	1. 1. 5. T	マ海製はエ	ئ د	

		9		Ī	I				99		=	22	-:	S. O	e	=	0.786	1
	<b>E</b>	~			ľ			8			=	22	=	5.6	e	20	9.781	99
	±₹	-					•				=	13	7.2	0.5	e	101	9.782	8
		9								901	=	12	2.0	5.0	19	20.	0.795	125
		1				99					=	11	1.0	0.5	Æ	105	P. 794	125
	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	3			2						12	11	2.0	0.5	æ	101	9.792	120
	X	2		166							31	13	2.0	0.5	600	104	0.795	136
			100								31	11	1.1	1.5	Œ	101	0.792	130
2			V	B	ပ	٥	8	ď	C	1	クリル散重的	使化还的	ソクミルバーオキサイド	ernem(1)	18 (2)	3274748	反海岛联(4)	和久姓(阳政)"
- 84			7	*	2	7	7	<u>بر</u>	_		1	1	<u>ۍ د</u>	#4	口一九記以往	# — # v	2 版	_

	6							100		25	2	- ·	œ	2	9.693	15
2	s						=			22	\$	1.0	E	9	9.708	160
ŧ	-					:				23	15	1.0	Ø	88	1.715	100
	0								100	25	2.5	-:	E	93	<b>9.726</b>	123
	6				101					15	2.2	1.	ī	8.6	9.718	123
*	-			991						15	52	1.0	Œ	• <b>16</b>	1.715	118
***	-		100							15	13	-:	B	81	9.720	125
	8	901								13	23	1.0	R	1.5	1.718	811
5		٧	ũ	3	Q	ย	d	2	H	メタクリル像	微化亚价	シケミル パーオキサイド	ロール記録性	C#4444CC	反損保款	<b>耐久性(陰散)</b>
×		1	4	2	4	<u>,</u>	'n	7 6	<u>_</u>	K K	E		- 0	サード	##	